



いたこの社会福祉 きずな

第 29 号

2014.12.10
平成 26 年

発行責任者

潮来市社会福祉協議会

会長 松田 千春

TEL 63-1296

題字は松田会長の揮毫です。



防災訓練の一コマ

地域のきずなを活かして

潮来市社会福祉協議会 事務局長

小沼 一彦

今年度四月から潮来市社会福祉協議会の事務局長として着任しました小沼一彦と申します。早いもので、八カ月が過ぎました。

国の政策として「地方創生」が叫ばれていますが、国立社会保障・人口問題研究所が公表した将来人口予測が、人口減少による地方自治体の存続の危機を指摘しています。潮来市の高齢化率も二五・九％（平成二十五年度）という高水準に達し、約四人に一人が六十五歳以上と言う現状ですが、今後十年間で更に高齢化率が上昇し、三人に一人が六十五歳以上となる予測です。

このような中、福祉活動に関する様々な要望やニーズも社協に届いており、平成二十四年度に策定された潮来市地域福祉計画・地域福祉活動計画に沿って、自助・共助・公助のもと着実な福祉活動の推進が求められています。

誰もが安心して暮らせる社会を作り上げていく上で、地域社会、とりわけ市民一人ひとりの思いやりや声掛けなどの優しさが最も大切なことであり、このことは、みんなで支え合う社会福祉協議会にとっても同様のことです。

今後とも、福祉の行き届いた街づくりを目指し、微力ではありますが努力してまいりたいと思います。どうぞよろしく願います。

第六十四回茨城県社会福祉大会受賞者紹介

十月十六日（木）小美玉市小川文化センターアピオスにおいて第六十四回茨城県社会福祉大会が盛大に挙行されました。

式典では社会福祉に功労のあつた方をはじめ、長年にわたり福祉活動に尽力された三名、二団体が受賞されましたので、ご報告致します。

茨城県知事表彰

社会福祉援護功労者

日の出地域女性団体連絡協議会

（ボランティア）

茨城県社会福祉協議会会長表彰

民生委員・児童委員

植田 義継

井上 志津江

社会福祉団体役員

松崎 昌樹（潮来市身体障害者

福祉協議会会長）

ボランティア

朗読の会しゃぼん玉



第14回潮来市社会福祉大会開催のお知らせ

日時

平成二十七年二月二十一日（土）

九時三十分～十二時三十分

会場

潮来市立中央公民館 大ホール

スローガン

「手をつなぎ 共につくろう 福祉の輪」

式典

潮来市社会福祉協議会 会長顕彰

講演（十時三十分～十二時）

講師 未定

笑いを交えた健康や福祉に関する講

演を予定しています。

◎ 障害福祉サービス事業所即売会

障害福祉サービス事業所による、

食品などの即売会を行います。

◎ 昼食とん汁、おにぎりの無料サービスが

あります。

たくさんの方の皆様のおいでをお待ちしております。

平成26年度鹿行地区身体障害者スポーツ大会が開催されました。

十一月二十二日（土）潮来市立日の出中学校の体育館において鹿行地区身体障害者スポーツ大会が開催されました。スポーツ日和に恵まれて、楽しそうに競技に参加していました。

潮来市身体障害者福祉協議会は見事準優勝に輝きました。



訪問インタビュー

平成二十六年十月二十九日

東嶋幹夫さん・房子さん

潮来市に転居して30年がたち、今は近所の方と日々楽しく生活をしているそうです。11年前、幹夫さんが59歳の時にくも膜下出血で倒れ、阿見の東京医大に入院をしました。退院はしたものの、後遺症により話をすることも不自由になってしまい、この時期がご夫婦共に一番辛かったと振り返っていらつしやいました。

倒れてから2年後、シルバーハビリ体操に出会い、ご夫婦で参加するようになって、随分救われたんだと笑顔で話されました。

現在はあおぞらに週2回デイサービスに通い、リハビリに励んでいます。



(聞き手 井上・古谷・澤田)

「倒れてからは、妻には感謝しかない。妻がいないと自分は生きていけない。」と話される幹夫さんに房子さんは「嘘ばかり」と否定していましたが、そのやり取りはとても仲のいい様子でした。これからもご夫婦仲良く色々なことをお楽しみ下さい。

お楽しみ遠足に参加して

水原三区 石津 邦さん

十月十五日、心配した台風十九号も過ぎ去り、小雨で寒い一日ではありませんでしたが、心の中は晴々とした気持ちで、五台のバスで出発しました。今回は銚子方面と水の郷さわらでの買い物を楽しみました。

昼食をいただいた後に、シネマックス稲敷にて映画鑑賞「蝸の記」夫婦の愛・家族の愛・師弟の愛の物語にはとても感動しました。

私達一人暮らしのために、社会福祉協議会、民生委員さんそしてボランティアの皆さん方、毎年色々な行き先を企画して頂き本当に有難度う御座居ます。

又来年も遠足に参加出来る事を望んでいます。



ボランティアコーナー

茨城県知事賞を受賞して

日の出地域女性団体連絡会
会長 小沼 文江

秋晴れのすばらしいお天気のお十月十六日、第六十四回茨城県社会福祉大会において県知事賞を受賞することが出来、会員一同大変喜んでおります。

日の出女性会は、平成六年六月に潮来市社会福祉協議会より一人暮らし高齢者の給食作りを依頼されてから、今年で二十年になりました。この間、平成八年には、0-157の食中毒の問題が騒がれました。特に食中毒には気をつけるようになりました。夏の二ヶ月間は八月がそうめん、九月は潮来産の新米を現物支給にしています。

平成六年に始めた日の出地区は、十六人分のお弁当作りからでしたが、今では四十数人分になり高齢化が進んでおります。

これからも潮来市の進めている健康増進と福祉行政のお手伝いが出来れば幸いです。

視覚障がい者交流会に参加して

和楽寿会 飯田 恵美子

九月二十八日、ボランティアを含め三十四名が、那珂市の盲老人ホームナザレ園の視察と、ぶどう狩りに参加しました。

初めにナザレ園を訪れ、説明を受けた後に、施設を案内して頂きました。ナザレ園は、イエスキリストのふる里ナザレの町にちなんで名付けられ、県内で唯一の視覚障がい者専用の養護老人ホームとの事です。手すりや点字タイル、誘導チャイムや庭の遊歩道、トイレと流し台のある明るい個室など安心した生活が送れるよう、設備が整っている事に驚きました。

昼は和やかな雰囲気の中、新鮮な野菜の天ぷらとおいしいそばを頂き、午後はぶどう狩りの後、那珂湊で買い物をしました。

見たものを言葉にして伝えたいと思い参加しましたが、一緒に楽しみ、有意義な一日を過ごす事ができました。



和気あいあい

絵手紙会 荒巻 泰子

当会は女性九名男性一名計十名の会員で、市内在住七〇歳以上の一人暮らし高齢者の誕生日に季節感のあるバースデー絵手紙をお贈りする会です。手書きの温もりある手紙が少なくなっている今、少しでも暖かい気持ちになって頂ける事を心がけ、会員それぞれの描き方で活動しています。本来手紙は相手のお顔があつてのことですが、私共はお顔の見えない方々にお出しますので、気持ちがお手紙として頂けるようなメッセージを心がけています。葉書は郵便局の方が安否確認をかねて手渡しで届けて下さるので高齢化の進むこれからも大事な事だと思えます。

月一回集まり宛名書き切手貼り等楽しんで続けています。この活動に興味がある方は是非ボランティアに参加して下さい。



はじめの一歩を踏み出しましょう!

ボランティア

参加費無料

入門講座

あなたのまわりには、あなたの手助けを必要としている人々がたくさんいます。
何か活動したいけれど、何から始めたらいいんだろう...??と悩んでいる方。
特に男性の方の参加 お待ちしております!!

【日 時】 ・1回目 平成27年 1月 17日(土) 午前10時~11時30分

・2回目 平成27年 1月 24日(土) //

内容 講話 ①ボランティア活動をはじめるにあたって
②現在、潮来市で活動しているボランティアさんからの体験談
実技 ①車椅子体験
②高齢者疑似体験
③高齢者の介助の仕方

【場 所】 潮来市社会福祉協議会 潮来市辻765

【対象者】 ボランティア活動を始めたばかりの方、ボランティア活動に関心のある方
市内在住または在勤

【定 員】 30名程度(先着)

【講 師】 潮来市社会福祉協議会職員

【申し込み〆切り】 平成27年 1月 8日(木)

【申し込み・問合せ先】 潮来市社会福祉協議会内 ボランティアセンター

Tel 63-1296 FAX 63-1265
月~金 8:30~17:15(祝祭日を除く)



第2回ボランティアのつどい

～これからの地域福祉とボランティア活動について～

期日:平成27年3月8日(日)

会場:アイモアジョイホール

時間:午後1時～4時

対象者:一般市民(ボランティア活動に関心のある方)

現在ボランティア活動をしている方など

内容

1. 講演会(90分)

講師予定 常磐大学 コミュニティ振興学部

教授 池田 幸也氏

2. ボランティアサークルの活動発表

①延方生活学校 ②IBSAMC新ステップ ③D-51

主催:潮来市ボランティア協議会

共済:潮来市社会福祉協議会



介護用品リサイクル仲介コーナー

現在あるリサイクル用品



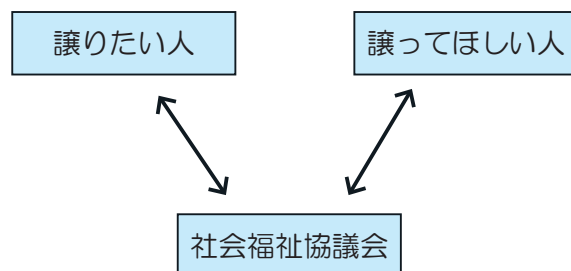
・歩行補助車 1台



・ポータブルトイレ 2台
・車椅子介助型 1台

介護用品リサイクル仲介のしくみ

使わなくなった物を譲りたい人や必要なので譲ってほしい人へ情報を仲介します。(無料です。)



●お問い合わせ● 潮来市社会福祉協議会
TEL: 63-1296
FAX: 63-1265
※業者の方はご遠慮願います。

退職公務員連盟代表者が タオルを寄贈

このほど、茨城県退職公務員連盟行方・潮来支部の関野秀男支部長他会員の代表が潮来市社会福祉協議会を訪れ、会員が「愛のタオル運動」で集めたタオル六二〇本を届けられました。タオルは、福祉施設等で活用していただきたいと毎年集めているそうです。この取り組みは、県全体で行っているのととで、昨年は一九、九四二本が集められました。本年度から、県全体で社会貢献に力を入れていくことになり、「様々な活動を工夫していきたい」とのことです。会員は、地域の観光案内ボランティアや、地域の見守り活動等の社会貢献活動も展開しているそうです。

小沼事務局長は、届けられたタオルについて「市内福祉施設への配布と共に、有効に活用させていただきま



牛堀中学校JRC委員会

文化祭（清華祭）の時に募金の呼びかけをして集まった善意を潮来市の為に役立たせて頂きます。



チャリティーカット実施しました

今年も8月19日に道の駅いたこにて、日本テレビ「24時間テレビ 愛は地球を救う」募金活動の一環として、「チャリティーカット」が実施されました。



善意銀行に金品を預託された方々をご紹介します。

平成26年7月1日～26年11月30日（敬称略 単位：円）

No.	預託申込氏名	預託金品	No.	預託申込氏名	預託金品
1	匿名	2,000	14	匿名	米2袋(60kg)
2	潮来市商工会女性部	50,000	15	匿名	物干しざお2本
3	大町 静香	衣類・バック	16	匿名	米2袋(60kg)
4	茨城県ハイヤータクシー協会鹿行支部潮来地区会	30,000	17	匿名	24,000
5	榊原 勝男	10,618	18	紫村 喜美江	米2袋(60kg)
6	匿名	13,207	19	匿名	2,000
7	篠塚 政敏	米5kg	20	匿名	2,000
8	清水次郎長会	14,687	21	J Aなめがた	64,275
9	井上 信吾郎	衣類	22	関東土佐犬協会	96,700
10	笹本 孝之	米1袋(30kg)	23	潮来市民ゴルフ大会	9,739
11	匿名	2,000	24	匿名	2,000
12	潮来市体協ゴルフ部シニア会	40,000	25	日産茨城会	50,000
13	かんぼの宿 チャリティ募金	9,500	26	中央労働金庫神栖支店推進幹事会	8,000

たくさんの寄付、ありがとうございました。

ふれあいサロン～みんなで作るあったかコミュニティ～

川尾サロン

9月26日に実施された川尾地区のサロンを取材させていただきました。宮本民生委員さんが中心となって毎週火曜日に開催しており、健康教室も月1回開催しています。

今回の健康教室では保健師さんを迎えて睡眠についての話が行われました。保健師さんの用意してくれた資料を用いて、皆さんメモを取りながら聴き入っていました。また、普段の睡眠に関する素朴な疑問を聞く様子もみられました。



※サロンや高齢者クラブの集まりなどでの、保健師の出前講座随時受け付けています♪
問合せ先 潮来市社会福祉協議会 TEL 0299-63-1296 (代表)

ふれあいいいききサロンを立ち上げてみませんか？

サロンの目的

ふれあいいいききサロンは、「縁側」「お茶の間」に見られた地域の集いを、集会所や公民館等で行う、住民の自主的活動です。気軽におしゃべりができる場所をつくることにより、「閉じこもり」「孤立」等の予防や、地域のつながりを深めることが目的です。

サロンを行うためのポイント

- ・ポイント①「気軽に」 身近な立ち寄れる場であること。
- ・ポイント②「無理なく」 地域の皆さんが居心地良くいられること。
- ・ポイント③「自由に」 プログラムや出入りに決まりはありません。
- ・ポイント④「楽しく」 参加者が楽しめることが一番です。
- ・ポイント⑤「多様な」 サロンは「こうでないといけない」という決まりはありません。

潮来市のふれあいサロンをご紹介します♪

浜丁・日の出1丁目・日の出2丁目・日の出3丁目・日の出5丁目・日の出7丁目・大山・東区・芝宿・川尾・他

※※※興味のある方は社協までお問い合わせください。TEL 63-1296※※※

事務局

米荒大坂小栗井沼前古中太根
川張川井林林上里島谷野田本
誠友 俊信志キ 淳千香瑞
紀 津ミ 鶴江
広子子勝夫吉江子操子子子

委副委
委員
員長

広

報

委

員

戦後最悪の火山災害となった紅葉の美しい御嶽山の噴火、南アフリカを中心に今も猛威をふるっているエボラ出血熱など恐ろしいことがあります。一方、青色発光ダイオード(LED)を開発した赤崎勇・天野浩・中村修二教授三人がノーベル物理学賞に輝き国民が祝福しました。

最近健康寿命(健康でいられる寿命)が男性七十歳、女性七十三歳ということを知り愕然としました。健康寿命を延ばすには食事や運動に心がけることは大切ですが、みんなとのコミュニケーションが一番だそうです。

「きずな」では各地区で開かれているふれあいサロンを紹介しています。ここでは、それぞれの地域の実情に合った活動がなされています。活動を通してコミュニケーションを深め、健康を増進させ充実した生活ぶりが伝わってきます。原稿を寄せていただき、ありがとうございます。(根本記)

編

集

後

記